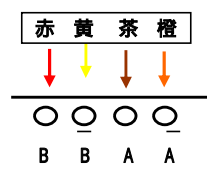


RE-C700 Ring Pump RP-H & Mシリーズ専用 低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー製品仕様

品名 低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー
機種名 RE-C700: コントローラー
適用Pump RP-Hシリーズ専用
駆動電圧 VM = 5.2V (固定)
入力電圧 RE-C700: DC 5V 1.0A (AC-DCアダプター: AC100-240V 50/60Hz: 付属品)
制御方式 バイポーラーコイル用電圧駆動方式
励磁方式 1/4マイクロステップ駆動方式
モーター速度 1 ~ 1000 PPS (4Hz ~ 4000Hz) デジタル分周
機能 PCソフトウェアによる各種制御

SINGL-MODE
 PROGRAM-MODE

接続端子 RE-C700: サイズ: 100 × 100 × 34mm



USB接続端子 (USB A-microB: 付属品)
 Pump接続端子-1
 Pump接続端子-2
 DC-IN端子
 Start-SW
 Start-LED(青)
 Pause-SW
 Pause-LED(緑)
 Power-LED(赤)

付属品 RE-700 : ・Type_A - micro_B USBケーブル
 ・USBメモリー (PCソフトウェア)
 ・AC-DCアダプター

適応機種別: モーター速度 (P P S 指定) とモーター回転数

RP-H(1/5ギア比 & 240Step/1回転モーター仕様)

PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	500	-	-	-	-
モーター回転数 [rpm]	0.25	1.25	2.50	12.50	25.00	50.00	75.00	100.00	125.00	-	-	-	-

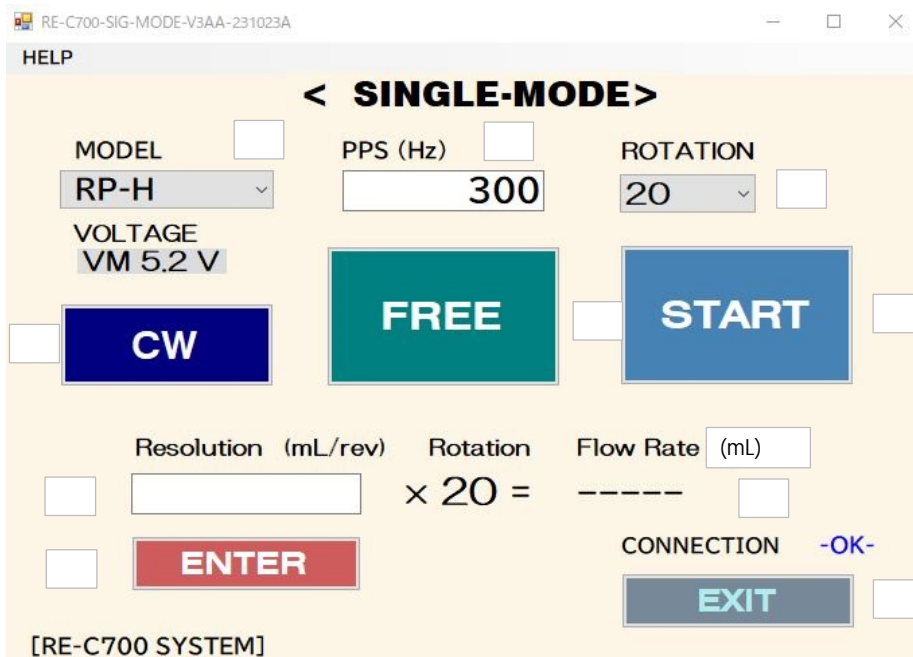
RP-M(1/10ギア比 & 480Step/1回転モーター仕様)

PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	-	-	-	-	-
モーター回転数 [rpm]	0.13	0.63	1.25	6.25	12.50	25.00	37.50	50.00	-	-	-	-	-

< 特記事項 >

- ・吐出量: 「1回転の吐出量 (uL/rev)」を入力下さい。(ポンプ出荷data添付)
- ・脱調(モーターストップor振動状態)が発生しない範囲での指定制御で使用下さい。
 - * RP-H: ダイレクト駆動は「400PPS」ぐらいまで
 - * RP-M: ダイレクト駆動は「350PPS」ぐらいまで

SINGLE



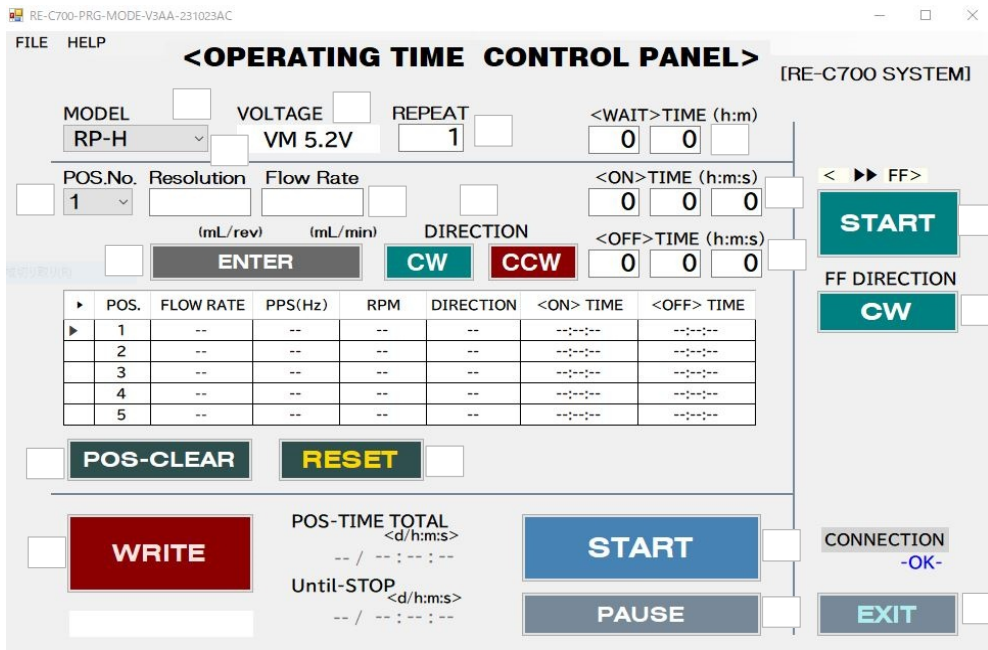
< 動作設定 >

Pump: RP-H / M切替		VM値: 5.2V固定
回転方向の選択	クリックして選択	CW(初期値) / CCWが切り替わる
モーター速度入力	1 ~ 1000 PPS(整数値)	リミッタ: 500PPS/H 400PPS/M
FREE	上記で設定した内容で動作する	溶液を供給する等 吐出チューブの先端まで溶液が供給されたら STOPをする

< 定量吐出量設定 >

Resolution「mL/rev」入力	Pumpに付属されている「1回転の吐出量(mL/rev)」値を入力する
ENTER	「mL/min」を確定させる 最適の「PPS値」と「回転数値」が自動計算表示される
ROTATIONの指定	「uL/rev」から希望の定量吐出量に近い回転回数を指定する 「▼」をクリックして選択 *動作するPPS値はPumpの設定別に自動設定されている *回転回数の指定は「1 ~ 30」までとなっている
Flow Rate(mL)	「1回転の吐出量(mL/rev)」値と「ROTATION」回数から定量吐出量を自動計算する
START	動作させる(自動でSTOPする)
EXIT	PCとの接続を解除する

PROGRAM



<初期設定>

Pump: RP-H / Mの切替
VM値
早送り動作-1
早送り動作-2

VM値: 5.2V固定
「▼」をクリックして選択 CW(初期値)/CCWが切り替わる
溶液を供給するため適用 Pumpの最適の高速動作で START/STOP
* 各CHに接続された Pump - MODELで STARTして溶液を高速供給する
吐出チューブの先端まで溶液が供給されたら STOPをクリックする

<PROGRAM設定>

Resolution「mL/rev」入力 Pumpに付属されている「1回転の吐出量(mL/rev)」値を入力する
Flow Rate「mL/min」を指定 希望の吐出量(mL/min)を入力する
ENTER ENTERをクリックして「Resolution」と「Flow Rate」を確定させる
最適の「PPS値」と「回転数値」が自動計算表示される
DIRECTION(回転方向)の選択 CW/CCWの指定
運転時間 運転時間を設定をする
* 00h00m01s ~ 99h59m59sまで設定可能
停止時間 停止時間を設定をする
* 00h00m01s ~ 99h59m59sまで設定可能
POS-CLEAR のPOS指定でPOS1 ~ POS5を選択後クリアできる(設定の再入力用)
RESET POS1 ~ POS5全てRESETする
POSを指定 「▼」をクリックして選択
POS1 ~ 5までのプログラム条件が設定可能
~ の繰り返しで
「吐出量・(PPS & RPMは自動計算表示)・ ENTER・ 回転方向・ 運転時間・ 停止時間」
がPOSに反映される
POS1 ~ POS5までのテーブル設定が可能となっている
設定テーブルPOS1 ~ POS5のREPEAT回数を指定する
1 ~ 99回のREPEAT回数を指定入力する(初期値は「1」)
WAIT TIME(h:m) START時間をズラす事が可能 入力した「h:m」

<書込設定>

WRITE 「PROGRAM」内容を本体のROM(メモリー)へ書き込む(*書き込んでいる間は「WAIT」)

<動作Mode>

「本体SW-START」
「本体SW-PAUSE」

* PCレス 本体のSW(スイッチ)の動作で「START/STOP」させる。
* PCレス 本体のSW(スイッチ)の動作で「PAUSE」ON/OFFを切り替える

「PC-START」

START

PCに「USB接続した状態」で「START/STOP」動作指示
* クリック毎に「START」「STOP」と切替わる

PAUSE

PCに「USB接続した状態」で「PAUSE」動作指示
* クリック毎に「PAUSE」「RESTART」「PAUSE」と切替わる

EXIT

PCとの接続を解除する

*PC側から制御する場合は本体SWの「START」「PAUSE」は必ず<OFF>にして
ください。動作が不安定になる場合があります。

<SAVE-FILE / OPEN FILE>

SAVE -FILE
OPEN-FILE

SAVE-FILE

プログラムした内容を保存できます。(任意のファイル名)

OPEN-FILE

保存されているプログラムを呼び出します。
* プログラムを呼び出したら、プログラム内容を「WRITE」キーをクリックして本体に書き込んで下さい。